

# 日本一の坂東夏ねぎ トップセールス



6月19日、木村市長とJA岩井の組合長及び園芸部役員のみなさんが大井川県知事を訪れ、出荷量日本一を誇る「坂東市の夏ねぎ」のトップセールスを行いました。

JA岩井のイメージキャラクター「ネッキーマン」と坂東市の「ねぎ爺」も参加し、「夏ねぎ」の知名度・認知度アップのためのPRを実施。風見組合長から「みずみずしく、柔らかで、歯触りもよく評価が高い。この時期の糖度は平均で10度前後あり、過去には、19度に達するものもあった」とねぎの甘味に関する説明があると、知事からは「果実並みの糖度だ」との感想をいただきました。

これから最盛期を迎える坂東市のねぎは、1日に2万ケース（1ケース5kg）年間225万ケースの出荷を予定しています。

市は、今後も当市の基幹産業である農業の生産基盤・経

営基盤の強化に最善を尽くしながら、ブランド力の強化、知名度アップに向けた取り組みを行っていきます。



# 圏央道（仮称）坂東パーキングエリア整備促進 国土交通大臣要望



進に関する要望を行いました。このPAについては、国、NEXC O東日本、茨城県、坂東市の4者による圏央道の休憩施設不足の早期解消に向けた調整会議を進めてきており、6月に「坂東PA（仮称）整備方針」が決定されました。今後も、圏央道4車線化及び（仮称）坂東PAの効果을 最大限に活かした地域利便施設の整備計画を進め、（仮称）坂東PAと一体となった整備を目指していきます。

5月21日、木村市長が、古河市長、行方市長、つくばみらい市長とともに国土交通省を訪れ、石井大臣に対し、茨城県内高速道路建設整備促進などに関する要望活動を行いました。市では特に、（仮称）坂東PA（パーキングエリア）の整備促進及びPAなどから高速に出入りができるスマートインターチェンジの整備促

